

『河川堤防の果たした役割』

東松島市の住民は、鳴瀬川河口部にある野蒜築港資料館の2階へ一次避難した。難を逃れた住民約80人は、中下堤防を通過して中下公民館へ二次避難した。中下堤防は耐震対策がされていたため、大きな被災がなかった。



一次避難した野蒜築港資料館



津波が引いたあと避難路として利用された兼用堤防。)



堤防は耐震対策されていたため、大きな被災無し